

《令和7年度 上下水道部 組織目標》

◆目標管理者

部長	荻下 則浩
専門理事	福西 弘充
理事	太田 一郎
専門理事	福井 教之

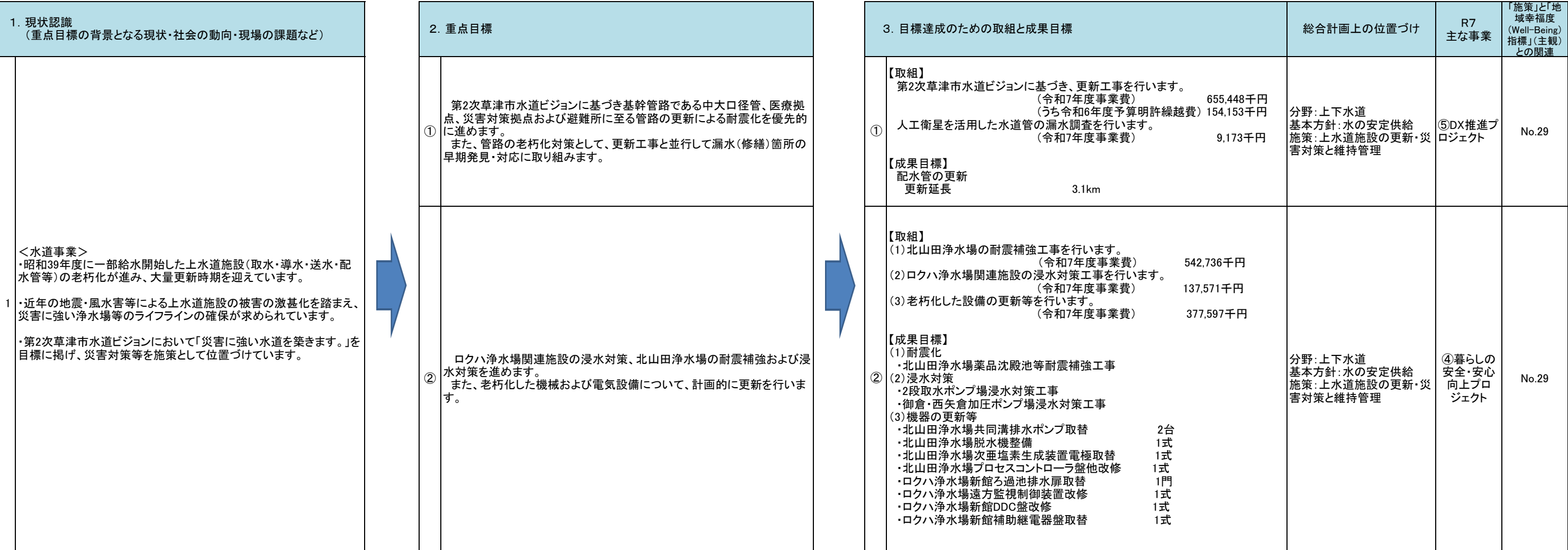
◆部局の役割・目標像

市民のみなさまの安心・安全で快適な暮らしのために

- ◆安心・安全で安定した水の供給に努めます。
 - ・「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、適切な上水道施設の整備や維持管理を行います。
 - ・災害に強いライフラインの確保のため、計画的な施設の更新・災害対策に取り組みます。
- ◆下水道を通じ、豊かな琵琶湖の自然を守り、快適な暮らしを支えます。
 - ・下水道施設の適切な維持管理を行い、汚水の適正処理に努めます。
 - ・下水道整備も概成し、今後、未水洗化世帯の下水道への早期接続を促し、水洗化率の向上に努めます。
 - ・災害に強いライフラインの確保のため、計画的な施設の更新・災害対策に取り組みます。
- ◆信頼を高める安定した経営に努めます。
 - ・上下水道事業のサービス向上に努めるとともに、事業内容や経営状況の情報発信を効果的に行います。
 - ・上下水道事業を安定的に継続するため、健全な事業運営に努めます。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)				当初予算規模(千円)		
	正規	再任用	会計年度	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	3	0	0	3	-	-	-
【水道事業】							
上下水道総務課	5	0	2	7	1,462,378	357,634	1,104,744
給排水課	2	0	3	5	12,704	2,449	10,255
上下水道施設課	9	1	1	11	936,274	39,214	897,060
北山田浄水場	4	2	4	10	1,808,080	765,700	1,042,380
ロクハ浄水場	9	3	4	16			
【下水道事業】							
上下水道総務課	4	0	2	6	4,756,081	1,746,951	3,009,130
給排水課	3	0	2	5	11,193	378	10,815
上下水道施設課	7	0	3	10	651,854	502,562	149,292
合計	46	6	21	73	9,638,564	3,414,888	6,223,676



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R7 主な事業	「施策」と「地域幸福度 (Well-Being)指標」(主観)との関連
2	<水道事業(経営)> ・昭和39年の一部供用開始から60年以上が経過し、老朽化した水道管の更新と併せて、震災等に備えたライフラインとしての機能確保が求められています。 ・水需要の減少や物価高騰など水道事業を取り巻く環境の変化に注視し、引き続き事業の推進と安定した事業経営を続けていくことが必要です。	③	<水道事業(経営)> 老朽化した水道管の更新を順次実施し、災害に備えたライフラインとしての機能確保を考慮した整備・更新・改修を進めながら、安定的な水道水の供給と健全な経営を継続して行えるよう、第2次草津市水道ビジョンに基づき、水道料金の10%還元を令和9年度末まで実施します。 また、経営状況の確認を行い、長期的な視点で公営企業としての健全経営を目指し、経営基盤の強化に努めます。	③	【取組】 事業や経営状況の把握を行い、第2次草津市水道ビジョンに基づく進捗管理を行います。 【成果目標】 経営計画における目標達成状況や経営状況の把握と分析を行い、上下水道事業運営委員会への報告および公表を行います。	分野: 上下水道 基本方針: 水の安定供給 施策: 上水道事業の健全経営		
3	<水道事業> ・現給水車110号車については、平成15年度に購入し、今年で20年が経過し、老朽化が進んでいます。 ・運転免許制度の改正により、現給水車(3t車)を運転できる職員が減少しています。	④	今後の大規模災害に備え、準中型免許対応の給水車(2t車)を購入することで運転可能な職員を増加し、給水支援体制の強化を図ります。	④	【取組】 (1)2tのATかつ準中型免許を持つ者が運転できる給水車(2t車)を購入します。 債務負担(令和7年度事業費) 0円 (令和8年度事業費) 26,700千円) (2)運転可能な職員を大幅(年間3名)に増加させます。 (令和7年度事業費) 523千円 【成果目標】 (1)給水車2t車購入 1台 (2)準中型免許対応の給水車(2t車)を購入することで運転可能な職員を増加し、給水支援体制の強化につなげます。(準中型免許取得3名分)	分野: 上下水道 基本方針: 水の安定供給 施策: 上水道事業の健全経営	④暮らしの安全・安心向上プロジェクト	No.29
4	<下水道事業> ・昭和49年の事業着手から50年以上が経過し、今後は施設の老朽化が進み、維持管理・更新費用の増大が見込まれます。 今後、効率的な施設管理を行うためには、優先順位を付けて計画的に事業を進めるとともに、事業を平準化する必要があります。 ・大震災等の発生に備え、災害に強いライフラインの確保が求められており、下水道施設の耐震化や適正な維持管理について市民意識が高まっています。	⑤	草津市下水道事業第9期経営計画に基づき、計画的に施設を点検・調査し、更新を進めます。	⑤	【取組】 (1)施設の点検・調査、更新を行います。 (令和7年度事業費) 76,334千円 (2)耐震対策の工事等を行います。 (令和7年度事業費) 187,973千円 (うち令和6年度予算明許繰越費) 77,146千円 【成果目標】 (1)カメラ調査、施設の更新 ・カメラ調査延長 2.3km ・下水道管管更生 38m (2)耐震対策工事 ・マンホール継手対策 39箇所 ・下水道管管更生 25m	分野: 上下水道 基本方針: 下水道の安定運営 施策: 下水道施設の更新・災害対策と維持管理		No.29
5	<下水道事業(経営)> ・昭和49年の事業着手から50年以上が経過し、普及率も高水準に達しています。今後は老朽化した施設の更新や効率的な維持管理に主眼をおいた事業運営が必要となっています。 ・下水道事業は利用者のみならずからの下水道使用料のほか、総務省の繰出基準に基づく一般会計からの繰入金などにより経営を行っています。 ・使用料収入はほぼ横ばい傾向となっていますが、物価高騰など下水道事業を取り巻く環境の変化に注視し、引き続き事業の推進と安定した事業経営を続けていくことが必要です。	⑥	<下水道事業(経営)> ・老朽化が進む施設の点検調査を実施し、施設の状況を把握した上で、老朽化と災害への対策を行うと同時に、集中して実施してきた初期投資の更新時期の平準化を目指します。 また、草津市下水道事業第9期経営計画に基づき、下水道施設の更新や災害対策を推進しながらも、経営の健全化を図り、安定した事業運営を行います。 ・総務省基準外の繰出金について、段階的な削減を行うことにより、独立採算の実現を目指します。	⑥	【取組】 事業や経営状況の把握を行い、草津市下水道事業第9期経営計画に基づく進捗管理を行います。 【成果目標】 経営計画における目標達成状況や経営状況の把握と分析を行い、上下水道事業運営委員会への報告および公表を行います。	分野: 上下水道 基本方針: 下水道の安定運営 施策: 下水道事業の健全経営		